



神通会報



No. 44 2012年10月

CONTENTS

- 特別寄稿 福田 敏男さん 1
- 平成26年、新校舎・至誠ホールの完成とともに、富山中部高校が新たに生まれ変わります 2~3
- こんな人生歩いています —中部32回卒業生 4~5
- 追悼抄 三朋友三郎君を偲んで 6
- 箱根駅伝への道のり 6
- 神通会総会・東京神通会総会 7
- 神通会からのお知らせ 8

SPECIAL COLUMN 特別寄稿

国際会議と ヒューマンネットワーク

福田 敏男

名古屋大学大学院工学研究科教授 (中部19回卒)



このところ、国際会議に行く機会が多く、おかげで、いろいろな国の人と知り合いになってきました。あまり違和感なく外国の人と付き合えるのは富山中部高校時代の英会話の教育のおかげではないかと思っています。特に、ハグマン先生が私たちの英会話のクラス担当をされて生まれて初めて外国の先生から直接に英会話を学んだのが大きいのではないかと思います。ホームステイで富山に滞在された人の話を高校の教室で聞いたり、高校の先生方の話に大いに触発されて、のちに米国のエール大学に留学する機会に恵まれました。1ドル360円時代にロータリー財団のお陰で留学させて頂き、英語以上に人との付き合い方を大いに学ばせて頂きました。最近ではグー

グルやフェースブックのようないろいろなネットワークを介して人と付き合いえますが、やはり、会って、お茶を飲みながら、食事をしながら話をして交流をしてヒューマンネットワークを作っていくのも楽しいです。

そのような意味で、やはり、親友をはじめいろいろな人に会えるので、国際会議に行くのは楽しいものです。若い時はだれも知らない会議にいくので、英語の言語の問題もあり、一生懸命に発表し緊張をしていたので、楽しいよりも、何とか発表を乗り越えようとして焦っていました。発表の段階から、会議の運営に携わるような段階になると、そのころは友達も増えてきて、会議の運営方法を学ぶことになりました。それぞれの国の習慣や文化の

違いもあり、以前参加した会議を運営した人たちの苦労がわかり人間的に成長します。いろいろ、経験を積んで楽しめる段階に来るまで、少々時間がかかりました。

若い時に初めて知能ロボットの会議 (IROS) を日本から起こしては25年、今では世界有数のロボット会議になり、今年で銀婚式を迎えることになりました。これも高校時代に触発された英会話教育と一緒に学んだ同級生の激励とヒューマンネットワークのお陰と思っています。

ふくだ としお

1948年富山県生。71年早稲田大学理工学部機械工学科卒業。77年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。現在、名古屋大学大学院工学研究科教授・マイクロ・ナノメカトロニクス研究センター長。自己組織化ロボット、マイクロ・ナノロボットの研究などに従事。IEEE Region 10 Director-elect (2011-2012)、IEEE Robotics and Automation Society 会長 (1998-1999)、IEEE Division X Director (2001-2002)、IEEE Nanotechnology Council 会長 (2002-2005)、日本知能情報フジイ学会 会長 (2006-2009)、IEEE Robotics and Automation Technical Field Award (2010)、計測自動制御学会技術賞 (2010)、日本機械学会技術賞 (2011)、日本機械学会論文賞 (2011)、ROS Harashima Award for Innovative Technologies (2011) など多数受賞。IEEE Fellow (1999)、SICE Fellow (1995)、日本機械学会フェロー (2002)、日本ロボット学会フェロー (2004)、日本VRR学会フェロー (2011)

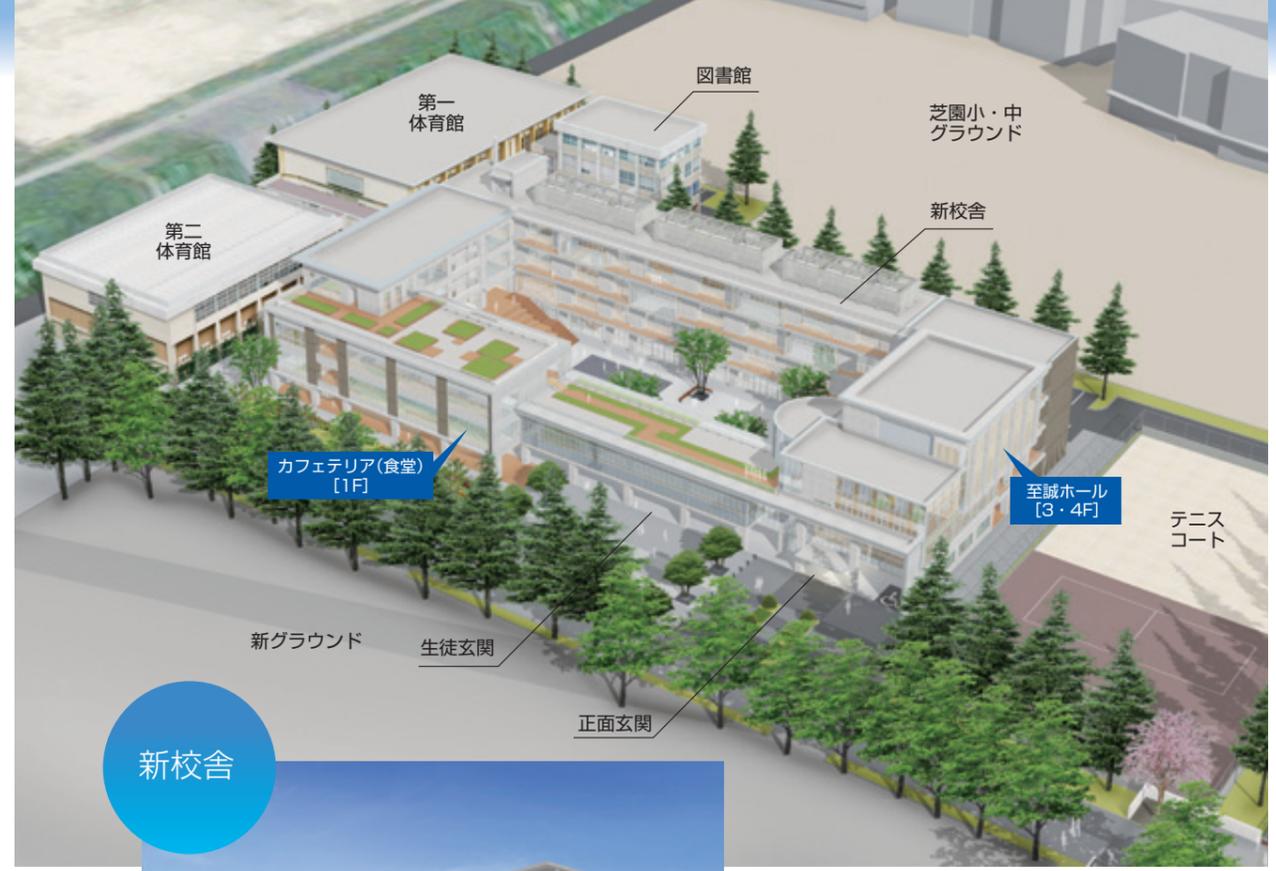


神通中学校



富山中部高等学校同窓会

平成26年、新校舎・至誠ホールの完成とともに、 富山中部高校が新たに生まれ変わります。



新校舎

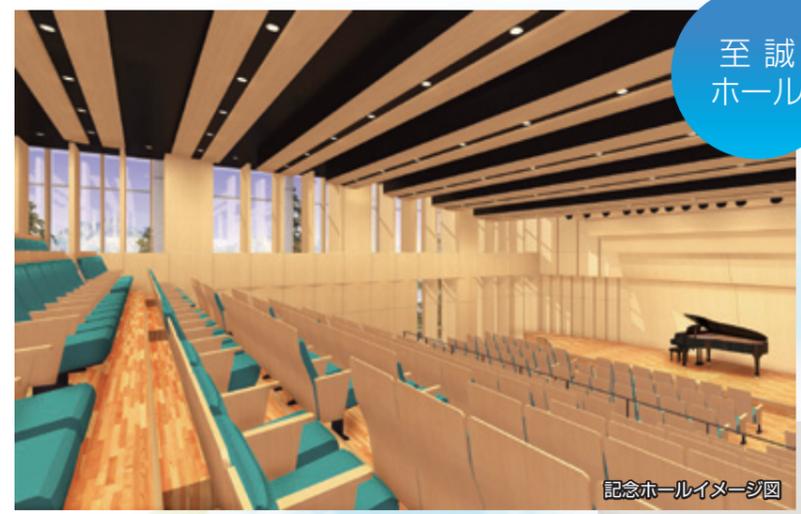
新校舎イメージ図

現在のグラウンド位置に改築される新校舎は、ステップアップする階層外観が印象的で、ゆとりのある中庭を擁したデザイン。「げやき通り」からテニスコートを右手に見て生徒は校舎を中庭に抜けて校内に入ります。

「至誠ホール」の350席は、一部収納式の階段席で構成され、両サイドの壁は利用目的に応じて90度に開閉し、採光・遮光ができません。

「カフェテリア(食堂)」は中庭を望む明るい空間で、軽飲食のできる「ミニエコーション」の場を提供します。

至誠ホール



記念ホールイメージ図

食堂



カフェテリア(食堂)イメージ図

※寄附者率(%)=寄附者数÷会報送付人数(寄附者無しの学年はカウントせず)

◆寄附状況

ブロック	目標額	金額(円)	達成率	寄附者率	ブロック	目標額	金額(円)	達成率	寄附者率
神中1回~20回	0	765,000		9%	中部32回	2,000,000	330,000	17%	7%
神中21回	500,000	350,000	70%	9%	中部33回	2,000,000	740,000	37%	7%
神中22回	500,000	740,000	148%	22%	中部34回	2,000,000	196,000	10%	4%
神中24回	500,000	670,000	134%	11%	中部35回	2,000,000	285,000	14%	6%
神中25回	500,000	140,000	28%	7%	中部36回	2,000,000	230,000	12%	5%
中部2回	1,000,000	335,000	34%	8%	中部37回	2,000,000	200,000	10%	4%
中部3回	1,000,000	2,030,000	203%	6%	中部38回	2,000,000	373,000	19%	7%
中部4回	2,000,000	2,470,000	124%	6%	第5ブロック	14,000,000	2,354,000	17%	6%
中部5回	2,000,000	5,977,000	299%	26%	中部39回	1,500,000	255,000	17%	5%
中部6回	2,000,000	1,585,000	79%	7%	中部40回	1,500,000	165,000	11%	4%
中部7回	2,000,000	2,425,000	121%	17%	中部41回	1,500,000	443,000	30%	3%
中部8回	3,000,000	883,333	29%	11%	中部42回	1,500,000	80,000	5%	1%
中部9回	3,000,000	2,610,000	87%	16%	中部43回	1,500,000	690,000	46%	47%
中部10回	3,000,000	2,680,000	89%	17%	中部44回	1,500,000	70,000	5%	1%
第1ブロック	22,500,000	23,660,333	105%	11%	中部45回	1,500,000	150,000	10%	1%
中部11回	8,000,000	2,980,000	37%	9%	第6ブロック	10,500,000	1,853,000	18%	10%
中部12回	8,000,000	1,563,000	20%	12%	中部46回	1,000,000	200,000	20%	2%
中部13回	8,000,000	6,367,000	80%	17%	中部47回	1,000,000	340,000	34%	1%
中部14回	8,000,000	4,565,000	57%	28%	中部48回	1,000,000	60,000	6%	1%
中部15回	8,000,000	24,220,000	303%	26%	中部49回	1,000,000	45,000	5%	1%
中部16回	8,000,000	9,000,000	113%	23%	中部50回	1,000,000	23,000	2%	1%
中部17回	8,000,000	10,110,000	126%	10%	中部51回	1,000,000	52,000	5%	2%
第2ブロック	56,000,000	58,805,000	105%	18%	中部52回	1,000,000	380,000	38%	3%
中部18回	9,000,000	9,550,000	106%	24%	中部53回		108,000		3%
中部19回	9,000,000	3,333,000	37%	11%	中部54回		80,000		2%
中部20回	9,000,000	4,905,000	55%	12%	中部55回		140,000		3%
中部21回	9,000,000	620,000	7%	7%	中部56回		140,000		3%
中部22回	9,000,000	2,020,000	22%	10%	中部57回		130,000		3%
中部23回	9,000,000	1,315,000	15%	7%	中部58回		60,000		1%
中部24回	9,000,000	1,660,000	18%	10%	中部59回		140,000		3%
第3ブロック	63,000,000	23,403,000	37%	13%	中部60回		100,000		2%
中部25回	7,000,000	3,950,000	56%	34%	中部61回		100,000		2%
中部26回	7,000,000	2,215,000	32%	9%	中部62回		200,000		3%
中部27回	7,000,000	4,970,000	71%	19%	中部63回		220,000		5%
中部28回	7,000,000	2,857,000	41%	11%	中部64回		430,000		8%
中部29回	7,000,000	2,130,000	30%	12%	第7ブロック	8,200,000	2,948,000	36%	3%
中部30回	7,000,000	5,944,000	85%	22%	PTA・教職員・不明		5,777,126		
中部31回	7,000,000	1,806,234	26%	18%	個人・企業		520,000		
第4ブロック	49,000,000	23,872,234	49%	18%					

総額 143,192,693円 全体寄附者率(会員のみ) 9% (2012年9月13日現在)

同窓生の皆様へ

残暑の厳しかった夏でありましたが、同窓生の皆様にはご健勝に、そしてご活躍のことをご推察申し上げます。今年4月から始まりました富山中部高校校舎改築に関する募金の金額は9月13日現在で1億4千3百万円となりました。これもひとえにご寄附をいただいた皆様の想いの強さと、財務委員会一同たいへん感謝致しております。

私が在校していた頃は今の前の校舎で、至誠堂という2階席のある講堂がありました。シーンと静まりかえった講堂でいろんな事を考え、思いを巡らしたことを思い出します。

今回、神通会が寄贈するホールは過去の至誠堂に負けない、立派な物になると思います。そして若い後輩たちが新しく出来る至誠ホールで、それぞれの思いを巡らし将来に向けて夢を実現していくことでしょう。

募金活動の目標額は2億1000万円であり残り7000万円となっております。一人でも多くの卒業生が少しでも良いから、富山中部高校の後輩たちのために想いをもって行動して頂くことが大願成就の鍵になると考えております。

いくつかの学年を7ブロックにまとめ、学年毎に数名の幹事を組織し、この募金活動を行っております。中には失礼な手紙や電話が行くこともあるかと思いますが、後輩たちのためと思ってお許しいただき、募金に参加して頂くよう切に願います。

着工される来年1月には富山県へ2億円寄附しなければなりません。まだ時間がある、もう少し後でとお考えの同窓生の皆様にも、なるべく早めに寄附頂くよう重ねてお願い申し上げます。また、振り込み用紙を無くされた方がたくさんいらっしゃいましたので、再度会報に同封させて頂きました。

気候の変動が激しい毎日ですが、同窓生の皆様にはくれぐれも健康に留意され、元気で過ごしてくださいよう心より祈念致しております。

平成24年9月

※同封の「募金の振込み要領」をご参照願います。
財務委員長 町野利道(中部17回卒)

こんな人生

歩いています

中部32回卒の同窓生10名に、ご登場をお願いしました。今年の神通会の総会・懇親会の幹事役を務めました。

いくつものストーリー

岡田 功



大学では、バレエを続ける傍ら演劇にも手を出した影響か、外国語専攻ながら何故か広告代理店に入ることにしました。海外要員かと思いきや、入社以来のドメスティック人生でしたが、昨今の逃げようのないグローバル化で漸くアジア、中国へと足を延ばし始めています。(もっと語学やつておくんだった...)

今思えば就職時には一つの生き方に固まりたくないというモトリアムが強かったかも。(結果としてですが)仕事から色々異なった業種の得意先の方々、悪戦苦闘しながらプロジェクトを進めたりする中で、幾つもの得難い会社人生のストーリーを共に経験させてもらっています。(グローバル化で自身が一気に変わった自動車やまさに苦闘中の家電等強烈な体験でした)高校の時ぼんやりと永遠に成長し続けると想像していた社会が、いつの間にか本当の意味で成熟性や、折り合っていく意識が必要な段階にきているようです。

登校拒否児、母校に帰る

金川 千尋



今だから言うが、現役時代は中部が大嫌いだった。山奥の、各学年1クラスずつしかない小さな中学校出身の私にとって、中部は

ば、映画を作った学校中騒がせたことも、誰とどこに遊びに行ったかも定かでない。これも本道の勉強がおろそかだったためで、先生方に誠に申し訳ない。
その後の人生では企業人でありながら大学で授業やゼミを持ち、研究も一応やっていると文系の日本人では珍しい食い散らかしのような状態を続けている。今回確認できたのはその「人と違うことをしたい」という邪心の源流が忘却の中部にあったということだ。それを正道に戻そうとてくださった先生方もいらしたような気がするがこちらも申し訳ない。でも、中部と仲間、先生方からももらったものはやっぱり得難い財産なんだ、と感じたい神通会だっとなあ。

偶然が方向を示してくれる

西村 恵美子



現在、仏・独・伊・西・英の五ヶ国語を教えている、と言っていると驚かされる。海外留学経験ゼロ・帰国子女でもない、となるとその驚きは倍加。そうだった経緯を聞かれる。発端は30代目前にスイスで開発された学習法(名称:サプル)に出会ったこと。上記の5言語の教材がある。偶然立ち寄った、ある団体の講座紹介企画で英語で体験レッスンを受け、「これだ!」と直感した。

2年ほどは生徒として通学。その後、スイス本部で研修を受け、講座運営の許可を得た。ほどなく、ベルギー赴任のため仏語を学習したいという問い合わせがあり、これをきっかけに仏語を開講。この学習システムがいかに効率的かを、自分自身でも証

都會的で全てが慌ただしくて、とてもなじめない学校だったのだ。特に2年時は一日中誰とも口をきかず、時々無断で学校を休んでいた。

そんな私が2年前から中部の教壇に立っている。誇らしいながらも、どこか後ろめたい気がする。では今は中部が好きなのか? 答えは「微妙……」である。現役時代のトラウマか、持つて生まれた性分か、今だに中部に抵抗はある。ただし中部の生徒は好きだ。純粹で何事にも真剣でどんな困難にもひるまず立ち向かう。彼らのためになら、残り少ない教員生活を本気でがんばろうと思っている。

部活は野球部と山岳部。一年のほとんどを外で活動している。教室内よりもグラウンドや山の方が生き生きできる気がしている。

次世代に貢献していこう

高島 淳



大学卒業後、神戸の企業に就職、30歳で渡米、駐在員として約7年間米国で過ごしました。その後、38歳で独立起業し大阪でパーソナル・コーチとして仕事を始めました。

現在は、コーチ業も続けつつ、産廃の再利用仲介と消臭や省エネ機器を販売する富山の会社の代表も務めており、この8年間は大阪と富山を行き来する日々が続いています。

前記の会社業務にて月に数回は富山へ出向いていますが、富山における人的つながりが更に

明してみようと考えたわけです。約1年間で仏語が軌道にのって、ラテン系言語の特徴がつかめたところで西語・伊語を開講。さらに1年をかけて独語開講にこぎつけ、現在に至っている。
これまで、多くの方に応援していただいたことに感謝している。絶妙のタイミングで私に出会ってくださった方々、本当にありがとうございます!

普通の生活

松島 貴子(旧姓:清水)



気がつけば50歳を過ぎていました。人間50年、信長の時代だったら人生のクライマックスを迎えています。

そこで今までどのような人生を送ってきたのかと振り返って見たところ、大学を卒業して普通に就職し、普通に結婚し、子供ができ、普通に子育てし、仕事に行き、同じような毎日の繰り返しだったような気がします。ちよつぱり楽しかった日、悲しかった日、辛かった日、苦しかった日、嬉しかった日、そんな日々の積み重ねでここまで来たような気がします。

これといったドラマチックな出来事もなく、平々凡々と過ごしてきました。それはそれでよかったのだと思います。何が起るか分からない今の世の中、普通に生活できることが幸せなのだと感じます。でもせつたくなれば何も考えずに毎日を楽しみたいと思えます。これからも一般庶民として普通の生活を送っていこうと思います。周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、その日、その日を。

広がり深まることになったのは、3年前に創設された関西神通会に幹事として関わらせてもらい、富山での神通会へも出席するようになったおかげだと思っています。

同窓会には素晴らしい出会いの機会があると思います。ただ、私には懐古趣味はなく、今後は、この国の未来、若者の未来のために社会課題を解決すべく、必要な事業を自ら起こしたり、社会起業する志高き若者の支援を自分の人生のメインテーマとして生きていきたいと思っています。

今の私に出来ること。

中島 まゆみ



15年前のある朝、急に思いついて始めたフラメンコ。なかなかやめられず、今も続けている。何故始めたのか、何故続けているのかよくわからない。やめるきっかけがなかっただけなのか。何か理由があつて、続けるように神様がしているのだろうか。フラメンコは、年齢や経験、スタイルは関係なく誰でも出来るし、その人の人生が出る。孫は、立って歩けるようになったとたん、1歳2ヶ月で私の靴を履いて鏡の前でタカタカ踊っていた。

今年の同窓会は幹事年なので、フラメンコをやつて欲しいと幹事長から連絡があり、軽いノリで引き受けた。そうだ、みんなで踊ろう。50歳の男子と女子が初めて挑戦してくれた。仕事が終わってから、夜遅くまで何度も踊った。お陰様で同窓会は、盛り上がった。

わかった、コレだ。神様は、この日のために、私にフラメンコをさせていたのだ。そう思うと幸せな気持ちになった。少しはお役に立てたかな。

音楽とともに

満岡 繁典



幼児から続けてきたヴァイオリンで何とか大学進学をして、その後富山に帰ってすぐにヴァイオリン教室を開きました。おかげさまで来年第25回の発表会を迎えます。これまでレスナーとしてだけでなく、ヴァイオリン・ヴィオラ奏者として、県内外のプロアマチュアオーケストラへの出演や室内楽を演奏し、アマチュアオーケストラの指揮や指導をしてきました。いろんな経験を積むうちに、自分のやりたい音楽ができるオーケストラ活動がしたくなり、2005年に富山フィルハーモニー管弦楽団を設立して音楽監督として毎年12月に今年で第7回となる定期演奏会をしています。

若い頃は「とにかく練習ありき」でただひたすら進んできましたが、今ではそれが今後も続けていくうえで大きな自信となつてきています。音楽に最終形はありません。まだまだ頑張ろうと思っています。

仕事と社会活動

毛利 一朗



親の後を継いで富山駅近くで不動産産会社を営んでいます。この業界に入っは、20年余り。高校時代は、理系、エンジニアという言葉にあこがれ、土木工学科に進学、卒業後は、県外に就職する予定でしたが、当時富山へ帰ってこいと親の言葉に、富山駅前開発にかかわりたく地元で就職。5年間サラリーマン

不自由な自由業

中村 厚



「公認会計士という由業の専門的職業があるらしい。自由業という位だから好きな時に仕事をし、好きな時に遊べるんだろ?」などと、今考えると、恥ずかしくなるような子供じみた発想で会計の世界に入りました。資格取得後、東京の監査法人を経て、平成元年、27歳の時に富山に戻り会計事務所を開業しました。

しかし、実際開業してみると、ほぼ365日仕事から解放されることはなく、特に30代、40代は仕事漬けの毎日だったというのが実感です。まさに「不自由業」です。

「自由業でんびりと」とか「地元で穏やかに」と言った、浅はかな思惑とは真逆の人生を送ることになったのは何とも皮肉です。

とは言いながら、長年この様な生活をしていると、その中にも楽しみややりがいを見出すことはできる様になるものです。50代に入りペースタウンは免れませんが、この「不自由」をより楽しみながら、もう少し頑張つていこうと思っています。

忘却の中部とその後の人生

西村 陽



しかしまあ神通会に初めて出て思ったことは、物覚えの良いはずの自分が結構中部のことは忘れていて、ということだ。30数年ぶりに会った同級生に確認しなければ

人生を送っていましたが、結局は家業を継ぎ今に至っています。親元で仕事をしておかげで、仕事以外に、地域社会に生きる余地ができたことも事実であり、各種団体に入って活動しており、今は、富山県高等学校PTA連合会の会長という大役を務めています。こんな生き方は、高校生時代には見えなかった姿であり、価値観です。不器用な生き方しているのかもしれない。富山という経済界で生きていくには、仕事以外の社会活動も必要なのだと思いつく納得しながら、今を生きています。

昭和54年・1979年 あ頃の出来事

- 〔1月〕三菱銀行狼狽人質事件
- 〔5月〕「英・マーガレット・サッチャー、ヨーロッパ初の女性首相になる
- 〔6月〕東京サミット
- 〔7月〕東名日本坂トンネル事故
- 〔12月〕政界に広がったKDD事件発覚

流行語

地方の時代、インベーダー・ゲーム、天中殺、ジョギング、省エネ、ウォークマン、「ウサギ小屋」「エガワる」「キャリア・ウーマン」

ヒット曲

おもいで酒(小林幸子)、YOUNG MAN(西城秀樹)、いとしのエリー(サザンオールスターズ)

テレビドラマ

西部警察 3年B組金八先生

映画

クレイマー・クレイマー、地獄の黙示録

追悼抄

三個友三郎君を偲んで

杉林 繁 (中部15回卒)



今年5月20日の北陸銀行の同期入行の会に、彼は懇親会と翌日のゴルフにも参加するとの返信をくれながら、来てくれなかった。約束事を違えることの無かった彼なのに、会は一分間の黙祷から始めなければならなかったのです。

67歳は早すぎるだろう「三ちゃん」。三個友三郎君のことを我々は親しみを込めて「三ちゃん」と呼んでいました。

彼とは同級生です。バレーボール部として活躍した文武両道の彼は部活に打ち込みながらも悠々と慶応大学に進みました。

昭和42年にお互いに銀行へ入行してからは銀行や関連会社などを含め40数年の付き合いとなりました。その間、彼は東京支店を皮切りに持ち前の人柄と能力で活躍し、同期トップで支店長となり、支店長、部長を歴任後、常任監査役に就任し、更に関連会社の社長も務め、同期の者たちを常にリードしてくれました。

ニューヨーク支店長もされたが、それであかぬけもせず、語学力が卓越しているとの評判もありませんでしたが、そういうことを超越しているのが「三ちゃん」なのです。とにかく大きな常識人であり、まさしく「人柄の三個」として皆に親しまれ、お客様にも信頼されていたのだらうと思います。

私も時折、監査役室などを訪ね、その大きな包容力に甘え、ずいぶんストレスを発散させてもらいました。彼は常に安心感のある聞き役でいてくれました。冒頭の銀行の同期会も彼が作ってくれました。高校の世話役としても尽力されていたと聞いておりますが、数年前、わが中部高校の野球部がひよつとしたら選抜の特別枠で甲子園に行くかもしれないと一部うわさされた時には真剣に応援の資金集めを考えていた姿が彷彿とします。

彼は若くして胃を切り、3年ほど前には、再び大手術をされました。見舞いの折には大きな手術痕を見せながら、医師は進んでいると心配をよそに快活に語ってくれたのが印象的でした。

最後の職場の富山県いきいき物産は隔日勤務であり、畑作りを始められると張り切っていたのでアスパラガスの苗を10本進呈。2年間はとってはダメと言ったら、守っているとのことでありました。今年は確か4年目となり大いに収穫できているのではないかと、「三ちゃん」はどうだろう。いきいき物産の仕事にも感謝し喜んでいただけに残念であります。

家族を愛し、友を愛し、仕事を愛し、酒を愛し、それ以上に皆から愛され慕われた「三ちゃん」、そして、感謝と尊敬の念を込めて「三個友三郎さんありがとう」。

合掌

箱根駅伝への道のり

森村 哲 (中部51回卒)



箱根駅伝が正月の風物詩となつてからどれくらい経つたのだろうか。賛否両論はあるが、箱根駅伝を走ることが学生長距離界の中では夢でもあり目標として見られている。自分も箱根駅伝を1回でも走りたい、との思いを持って早稲田大学競走部の門を叩いた。

入学当初は下級生ということもあるが、長距離(10キロ以上)をほとんど走ったことがなく、チームの中でも持ちタイムは下位の方だった。入学後の練習で力はいったが、1年生の時は箱根駅伝を走ることがおろか、メンバーに入ることすらできなかった。この悔しさをばねに猛練習を行った結果、翌年の2年生から3年間連続で箱根駅伝を走ることができ、3年生の時には区間賞も取ることができた。

「箱根駅伝は1人で走る能力がないと走れない」が当時コーチから指摘されていたことだった。競ることもあるが、1人で走ることの方が基本的に多いのが箱根駅伝。そのため在中中は自分で練習メニューを考え、1人で走る練習を多く取り入れられたが、自分はスムーズにこの練習方法に対応することが出来た。

この練習方法に柔軟に対応することが出来た背景は、高校時代にさかのぼる。陸上部に所属していたが、長距離ブロックの練習メニューは自分たち(生徒たち)で考えてつくっていた。この時に自分で練習メニューを考えて組み立てて取り組むことが身につけていたのだ。これは自主的に行ったことと言うより、部活の伝統として当時は受け継がれていた方式だった。

勉学はもちろんのこと、部活にも自主的に取り組む姿勢を高校時代に体験したことが、大学での目標達成(成功)に大きく影響することになるとは思ってもいなかった。自分の体験はほんの一例とはいえ、高校時代に学んだことが将来の役に立つ実例ともいえるだろう。

口で言うのは簡単かもしれないが、「今」自分が過ごしている人生は「将来」に何かの形で役立っていくものである。今やっていること・経験していることを改めて見つめ直し、そして取り組み、限られた高校生活を有意義に過ごしてほしい、と在学生に願う。



平成24年度神通会総会・懇親会

平成24年度神通会総会と懇親会が8月4日、富山第一ホテルで開催されました。総会では前年度ならびに今年度の事業計画・会計決算・予算が審議され承認されました。永年勤続職員への感謝状・記念品贈呈の後、新校舎建築の進捗状況と4月よりスタートした募金事業の現況が報告されました。

引き続き、3階大ホールで幹事学年である中部32回卒業生の仕切りの下、懇親会が盛大に催されました。まず、物故会員を偲び、満岡繁典氏(中部32回卒)によるバイオリンの校歌演奏のなか黙祷。源八郎会長(中部15回卒)、加藤一郎校長の挨拶に続き、本年5月に急逝された故三個人友三郎前幹事長(中部15回卒)の後任として池森武宣氏(中部15回卒)より新任の挨拶がありました。引き続き来賓紹



挨拶をする源会長

加藤一郎校長



懇親会幹事の32回生



フラメンコ舞踏楽団のアトラクション

会の幕を閉じ、折から「富山まつり」で熱気も最高潮の街へ同窓の輪は移っていきましました。(広報委員会記)



平成24年度 東京神通会総会開催報告

平成24年度の東京神通会総会が7月4日、第一ホテル東京にて午後6時30分より開催されました。登録出席者数294名と昨年の総会を上回る盛況。

総会は打林國雄幹事長の進行で内山昭夫会計幹事による会計報告が承認された後、昨年新任された谷内正太郎東京神通会会長が年々盛況になる同会の絆をさらに強力なものにするとの挨拶がありました。続いて来賓よ

り中部高校加藤一郎校長が県下高校界を牽引する母校の近況を報告され、石井隆一富山県知事からは県勢の堅調な状況に加え、校舎改築にかかる同窓としての想いを熱く語っていただきました。神通会源会長の音頭で杯が

揚げられ懇親会がスタートしました。30余りのテーブルが会場を埋め尽くし、バイキング形式の料理は会場脇のホワイエに並べざるを得ない状態。各テーブルには鱒のすしをはじめ蒲鉾、ホタルイカの沖漬けと故郷の味覚が並べられ、出席者からは「これだけで出席の価値あり!」との声も聞かれました。神中OBも2名の出席があり、中部40回代までは各期



は中部59回卒(推定年齢23歳)での参加がありました。

宴たけなわ、四神の応援団旗が掲げられたステージで同窓のもう一つの絆である赤・黒・白・青の操を3年間守った仲間が参集し団歌の斉唱、そして富山中部高校校歌の大合唱となり、東京神通会の坂東眞理子副会長が品格さておき気合の入った挨拶で締めくくられ、あつという間にお開きとなりました。

ともあれ、本校同窓の関東在住会員は多く、また団塊世代のリセット期を迎え、これからは本年以上の盛況が続くことは間違いなく、恒例となっている第一ホテルの会場も拡張せざるを得ないことになるでありません。所は新橋の繁華街、各回の輩があるいは合流して、語り尽くせぬ誼は二次会・三次会へと持ち越されていきました。(広報委員会記)

◆◆◆◆ お知らせとご連絡 ◆◆◆◆

神通会役員に関するお知らせ

本誌「追悼抄」でご覧のように幹事長の三個人三郎様のご逝去されました。卓越したご見識と大らかなお人柄で、約5年に亘って神通会を取りまとめて頂きましたことに深い感謝を申しあげ、ご冥福をお祈りいたします。

新幹事長には、元チューリップテレビ社長の池森武宣様(中部15回)が就任されました。また、相談役の中田昇様(神中21回)が健康上の理由で退任されましたが、長年に亘るご尽力には言い尽くせぬ感謝です。

今回会報には以下を同封いたします

- ①全員に寄附金振込用紙2種類および募金の振込み要領(紛失されたという方も多いため、再度同封させていただきます)
 - ②学年幹事からの「校舎改築募金」関連の該当学年への手紙(時間的なずれなどによる失礼や寄附金額に差がある場合は、ご寛容くださいますようお願い申し上げます)
 - ③該当学年への「同期会開催のご案内」
 - ④関西在住の方には「関西神通会開催のお知らせ」
- *このような学年単位のご連絡などには、年2回発行の会報への同封をご利用ください。

《第4回関西神通会》・・・ご参加をお待ちします

平成25年2月2日(土) 11時～、於：綿業会館(大阪)
 講演：「MRJを世界の空へ」戸田 信雄氏(中部16回卒)
 申込み：同封の申込書か神通会事務局または下記へ
 関西神通会 菊井 勲 TEL 06-6877-3570
 メール kikui-tsutomu@pop02.odn.ne.jp

《第6回オーリーブ会展-2013》・・・出品大歓迎

平成25年8月8日(木)から4日間、於：富山県民会館
 中部高校美術部OBを中心に、全国の部員以外のプロやアマのOBも参加する絵画、彫刻、工芸、書、写真などの作品展です。
 *お問合せは山本清まで TEL 076-437-6909

平成23年度 収支決算および平成24年度予算

収支項目	23年度予算	23年度決算	24年度予算
総 会 収 入	2,000,000	2,360,000	2,300,000
会 費 収 入	12,000,000	9,719,460	2,500,000
雑 収 入	80,000	94,043	100,000
収 入 合 計	14,080,000	12,173,503	4,900,000
総 会 費	2,400,000	2,509,710	2,400,000
会報費/作成・送付費	4,300,000	2,756,040	4,300,000
広 報 活 動 費	250,000	315,917	250,000
人 件 費	1,200,000	1,268,500	1,100,000
通 信 費	200,000	184,613	190,000
リ ー ス 費	25,000	17,021	17,000
事 務 費	100,000	94,432	90,000
会 議 費	400,000	281,000	400,000
雑 費 (慶 弔 費)	200,000	145,894	180,000
雑 費 (そ の 他)	200,000	149,534	180,000
関西支部活動支援金	100,000	100,000	(支援終了) 0
設 備 充 実 費	845,000	700,045	200,000
校舎改築関連経費	1,200,000	168,551	1,000,000
支 出 合 計	11,420,000	8,691,257	10,307,000
収 支 差 額	2,660,000	3,482,246	-5,407,000
次年度繰越収支差額	24,687,589	25,509,835	20,102,835

平成23年度資産状況

資 産	期首残高	期末残高	増 減
手 元 現 金	73,023	446,689	373,666
芝園郵便局普通預金	7,760,677	1,212,419	-6,548,258
ゆう貯振替(会費)	18,000	8,432,460	8,414,460
ゆう貯振替(名簿)	7,880	15,260	7,380
北銀丸の内普通	3,476,944	4,708,160	1,231,216
北銀丸の内定期①	5,043,384	5,045,806	2,422
北銀丸の内定期②	5,647,681	5,649,041	1,360
合 計	22,027,589	25,509,835	3,482,246

中部高校だより

全国総合文化祭:母校3年の柴原さんが生徒実行委員長を務め、多くの文化部が活躍し演劇部や放送部(個人)が優秀賞を受賞。
 現校庭での最後の体育大会:伝統の各種競技の熱戦、古典とモダンが競い合う応援合戦の後、最後はフォークダンスで幕を閉じた。



哀悼の意を表します

(前号発刊以降にご連絡のありました方々を掲載させて頂いております)

- | | | | | |
|---------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|
| 堀 定雄 (神中4回) | 森崎 幹雄 (神中17回) | 坂井 真一 (神中25回) | 坂本 英雄 (中部5回) | 三個人三郎 (中部15回) |
| 永瀬 清治 (神中6回) | 吉川 義 (神中17回) | 吉村 修 (神中25回) | 関 笑子 (中部5回) | 野崎 康雄 (中部15回) |
| 平井 信二 (神中7回) | 菊次 知雄 (神中18回) | 村井 章 (中部2回) | 中平 哲也 (中部6回) | 三日市 晋 (中部15回) |
| 布村 幸英 (神中10回) | 萩野 壮都夫 (神中19回) | 有沢 清隆 (中部3回) | 松原 実 (中部6回) | 飯野 真貴子 (中部17回) |
| 石黒 新作 (神中11回) | 吉田 政治 (神中19回) | 徳升 英敏 (中部3回) | 女川 二子 (中部7回) | 黒田 雅俊 (中部17回) |
| 沖本 寛 (神中13回) | 小木 三良 (神中19回) | 森田 和子 (中部3回) | 清水 信一 (中部7回) | 富尾 迪代 (中部17回) |
| 佐伯 義平 (神中13回) | 高森 長明 (神中19回) | 山森 利之 (中部3回) | 室林 弥吉 (中部7回) | 石田 修二 (中部18回) |
| 田中 政春 (神中13回) | 竹内 佑正 (神中20回) | 吉田 哲夫 (中部3回) | 大橋 朗 (中部9回) | 作田 義秀 (中部18回) |
| 大塚 義章 (神中15回) | 鈴木 清民 (神中21回) | 宮森 孝哉 (中部3回) | 大村 洋子 (中部9回) | 中村 泰次郎 (中部18回) |
| 酒井 信之 (神中15回) | 高山 正 (神中21回) | 石原 博 (中部4回) | 中村 義明 (中部9回) | 加藤 清樹 (中部19回) |
| 長沢 四郎 (神中15回) | 藤井 重光 (神中21回) | 井上 弘 (中部4回) | 土肥 晃 (中部9回) | 講神 陸彦 (中部24回) |
| 中田 昌夫 (神中15回) | 万里 小路弘文 (神中21回) | 岩瀬 邦雄 (中部4回) | 中川 理子 (中部10回) | 浜野 博 (中部24回) |
| 福山 治郎 (神中15回) | 宇津 井敏夫 (神中22回) | 田村 暁 (中部4回) | 高野 輝行 (中部11回) | 谷 俊行 (中部27回) |
| 藤澤 貞信 (神中15回) | 紙谷 隆治 (神中22回) | 山本 睦子 (中部4回) | 守田 佳吉 (中部12回) | 千名 良実 (中部29回) |
| 馬場 一雄 (神中16回) | 荒川 文男 (神中24回) | 太田 久雄 (中部5回) | 池田 茂 (中部14回) | 吉田 隆雄 (中部30回) |
| 浜田 芳一 (神中16回) | 石田 清範 (神中24回) | 道正 吉弘 (中部5回) | 奥井 ユリ子 (中部14回) | |
| 亀沢 進 (神中17回) | 山崎 隆道 (神中24回) | 村杉 幸子 (中部5回) | 山崎 鉄夫 (中部14回) | |

●会報をお読みになつての感想・意見をお寄せください。Eメールアドレス info@jinzukai.com

富山中部高等学校神通会

編集責任：神通会広報委員会

〒930-0097 富山県富山市芝園町3丁目1-26

事務局直通 ☎076-444-7672 FAX076-444-7672

ホームページURL http://www.jinzukai.com/

Eメールアドレス info@jinzukai.com